

地域医療支援病院の業務報告

	令和2年度	令和3年度
紹介率	96.5%	88.6%
逆紹介率	83.6%	86.0%
平均在院日数	17.8日	16.3日
病床利用率	65.0%	60.1%

地域連携室の活動状況(令和3年度)

かかわった入院	全入院患者の17.8%
かかわった退院	全入院患者の36.8%
相談件数	院内7727件
	院外815件

薬剤師の

おくすりいろいろ話

其の48

ピリン系アレルギー

よく病院や薬局でピリン系アレルギーがないか確認されることはありませんか？



ピリン系薬剤というのは、ピラゾロン骨格という薬の構造をもつ解熱鎮痛剤です。副作用として重篤なものに、血液障害(無顆粒球症、血小板減少症)・消化管出血・皮膚障害などがあります。その他胃腸障害・頭痛・倦怠感などがあります。病院で処方される薬は、メチロン、SG配合顆粒、クリアミン配合錠などです。市販薬では、セデス・ハイ、ルルアタックFXa、パイロンハイEXなどがあります。

一方、ピリン系薬剤とよく間違えられやすい薬剤はアスピリンです。解熱鎮痛や血栓予防などに使われており、商品名としてバイアスピリンやバファリンがあります。「ピリン」という名前がついていますが、アスピリンはサリチル酸骨格という薬の構造をもつので、ピリン系とは異なります。(非ピリン系という分類に属します)アスピリンは正式名アセチルサリチル酸といいますが、アスピリンという名前は、アセチルのAと、サリチル酸の別名 SpiraeUlmariaという植物に由来しているそうです。

まぎらわしい話ですが、ピリン系・非ピリン系は比較的よく使われる薬剤なので、使う機会がある際は、このことを意識しておくと思いいます。

参考文献: 大久保歯科医院HP、徳島医師会Webサイト、
けやきトータルクリニック、ファーマシスタHP

解熱

編集後記

衣替えの季節を迎え、道行く人々の装いにも夏らしさを感じられる頃となりました。新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いてきて、今年の5月の連休は去年よりも外出する機会が増え、様々なイベントが開催されました。全国学会が今までWEB開催でしたが、6月以降の全国学会は概ね現地で開催されるようになり少しずつ緩和されてきています。しかし、若年層の感染率が高く、若年層のワクチン接種もまだ普及してきていない状況ですので、外出する時は油断せず、今までと同じように感染対策をしっかりしていきましょう。

栄養関連ニュース

山口県の郷土料理「ちしやなます」

ちしやはサニーレタスに似た野菜で、山口県全域で栽培されており、特に下関を中心とする伝統野菜です。ちしやなますはちぎったちしやを、酢味噌で和える簡単な料理です。毛利時代に関ヶ原の戦い後、困窮した人々の中で考案されました。

～材料～

ちしや・・・150g
ちりめんじゃこ・・・20g
白味噌・・・40g
砂糖・・・20g
かぼす・・・適量
酢・・・15ml(大さじ1)

ちしやをレタスに、かぼすを
レモンやゆずきちに変える
等のアレンジも可能です！

～作り方～

- ① ちりめんじゃこはフライパンで乾煎りする。調味料を全て合わせて混ぜる。酸味が苦手な場合は、すりごまを加えたりみりんを混ぜるとまろやかになる。
- ② ちしやを一口大より一回り大きいくらいにちぎる。沸騰したお湯をかけて湯引きする。水で冷やし絞る。
- ③ ①と②を和える。(生のちしや場合は水が出てくるので、食べる直前に和えて下さい。)

参考文献: 山口県農業協同組合HP



徳山医師会病院だより

2022年 第56号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
http://www.tokuyamaishikai.com/



令和4年度入社式が行われました



令和4年度の新入職員の入社式が、4月1日に行われました。

今年は新たに13名の職員が入社しました。それぞれ病院長より辞令を受け取りました。その後当院の病院長、名誉院長より新入職員への式辞を頂いた後、新入職員の代表者1名が宣誓を行い、改めて徳山医師会病院で働くにあたって身を引き締めていくことを誓いました。

コロナ禍の中で、病院職員もより一層の慎重な業務が求められています。地域医療支援病院として、徳山医師会病院職員は一丸となって今後も患者様のために頑張ってまいります。



＜基本理念＞

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

＜基本方針＞

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

新任ドクター着任のご挨拶



消化器外科部長

長谷川 博康 先生

[認定]

医学博士

日本外科学会 認定医 専門医 指導医

日本消化器外科学会 認定医 専門医 指導医

消化器がん外科治療認定医

検診マンモグラフィ読影認定医

本年4月より徳山医師会病院に勤務となりました長谷川です。

私は、生まれも育ちも小野田市（現：山陽小野田市）です。県立小野田高校から山口大学医学部に進み、昭和57年に卒業しました。卒業後は山口大学第二外科（現：消化器・腫瘍外科）に入局しました。大学院にも入学し、昭和61年4月に学位記を頂きました。

大学院卒業後、山口大学医学部附属病院勤務を経て、昭和62年6月より徳山中央病院に勤務となりました。平成28年3月まで29年間も勤務させていただきました。消化器外科を始め乳腺や甲状腺の手術など、沢山の手術を経験し、徳山中央病院には大変お世話になりました。平成28年4月からは、小郡第一総合病院に転勤となり、本年3月の定年まで6年間お世話になりました。小郡では、併設の介護老人保健施設の施設長もさせていただき、介護保険についても勉強させていただきました。

大学卒業後40年間、多くの患者様の外科手術に携わることができたことは、外科医冥利に尽きます。これまで、私が関わりました多くの患者様に感謝申し上げます。今後は、年齢的にも環境的にも手術をすることはありませんが、これまでの経験を活かして、患者様に接していきたいと考えています。

趣味は大相撲観戦です。最良の力士はいませんが、昔は横綱玉の海が一番のお気に入りでした。また、ウォーキングも好きです。小郡に在住していますが、小郡第一総合病院勤務時は、自宅と病院間の2.5kmを毎日歩いて通勤していました。徳山医師会病院に勤務してからも、帰宅時は徳山駅まで歩いています。春の東川、桜馬場通、毛利町の桜並木を眺めながらの散策は格別でした。今後もウォーキングは続けるつもりです。

徳山医師会病院の皆様には、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

当院はやまぐち健康応援団の登録病院です

やまぐち健康応援団とは

県民を対象に、食生活や運動など健康づくりの各分野で主体的な取り組みを行う事業所・団体を登録する制度です。登録団体は、県・市町や関係機関と連携・協力を図り、県民の健康づくりを支援します。健康を支え、守るための社会環境の整備された「健康のまちづくり」を推進し、**健康寿命の延伸**を目標としています。



健康寿命とは、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間を意味します。平成28年の調査によると、山口県の平均寿命は男性80.5歳（全国32位）、女性86.4歳（全国35位）ですが、健康寿命は男性72.2歳（全国18位）、女性75.2歳（全国16位）であり、平均寿命と健康寿命との間に10歳前後の差があります。

今年度のテーマは食と栄養に関するヘルシーメニューの提供

テーマ選別にあたり、昨年度の職員健診の結果を分析しました。すると、当院は女性職員が多いことも影響し、中性脂肪やコレステロールの平均値がやや高値であることがわかりました。これを受けて5月の23日から27日の間、ひだまり食堂へ協力をいただき、当院の管理栄養士監修のもと、糖質を脂質を控えた**低エネルギー弁当**の販売を実施しました。

